

議 事 要 旨

【日 時】 令和6年9月27日(金)18:34 ~ 19:58

【場 所】 TV 会議(佐世保市中央保健福祉センター5階 危機管理室)

【出席者】 委員6名(1名欠席)

〈事務局〉辻保健福祉部長、井上保健所長、深江次長、八木課長、八木課長補佐、守主査

〈佐世保市総合医療センター〉南川事務部長、井原事務部次長、寺松経営企画課長、坂田経営企画課長補佐

〈北松中央病院〉東山理事長、富本事務部長、前田看護部長

◆評価委員会各委員の主な意見・質疑

■議題1 北松中央病院令和5事業年度の業務実績評価

【意見】

令和5事業年度の業務実績評価(案)の修正等が必要となるような意見はなし。

【質疑等】○質問 ●回答

目標達成に向けた改善策の具体的な方法について【橋本委員】

○P8「外来では長期処方を通常に戻し」とあるが、何日処方されていた分を何日に戻すのか？

●元々当院は2ヶ月処方(大体56日)をしていたが、新型コロナが始まって、外来のスタッフを発熱患者等に対応できるよう一般外来の患者をできるだけ減らしたいことがあり、最大90日としていたものを通常の56日に徐々に戻していったところである。

大体元々延べ6万の患者さんに外来処方しており、コロナ禍で5万4千人程度に減少していたが、現在は、普通の外来日程とすることで、外来患者数は徐々に戻っているところである。(東山理事長)

○P14「できる限り多くの救急患者を受け入れていく」、P62「人間ドックについては、できる限り多く受け入れていく」、P74「ストレスなく働ける職場環境を整えていく」について、具体的にどのような実現をされようとしているのか？

●救急患者に関しては、佐世保市の輪番病院を今年度から月に1回やり始めて、まだ年度途中なのではっきりしていないが、すでに昨年度実績は633台まで増えており、さらに今年度も増加傾向というのはある。

健診に関しては、こちらから健診を増やす取組、企業訪問とかはしていないが、各企業が健診自体を控えていたことはある。

離職に関しては、看護師中心であるが、定期的に面談を行いながら、職場環境を整えていきたいと思っている。(東山理事長)

○P55 紹介率と逆紹介率について、大きく目標を上回ったところについて新たな取組をされたのか？

●基本的に発熱外来は紹介状がないため、そういう人たちが減ってきて通常診療で通う方が増えている。つまり、コロナ禍では紹介率と逆紹介率が減っていたものである。(東山理事長)

患者サービスの向上にかかる取組について【古賀委員】

OP47 特記事項「令和4年度からの透析患者送迎サービスの実施」について、具体的に何名の患者が常時送迎を受けているのか？送迎にあたって課題はあるか？

●現在当院で透析を受けているのが110名から120名の間、そのうち大体10名程度が遠方からで平戸・生月の方を平戸ターミナルまで迎えに行っている。佐々、鹿町方面への送迎もある。

しかしながら、新型コロナが感染を送迎中の車内で起こすリスクもあるので、患者さん側があまり集団送迎バスに乗りたがらないというのが現状も続いており、開始した頃からコロナ禍だったので利用率が伸びていないというのは現実的にはあると思う。今後、時間経過とともに利用できる環境が伸びていくのではないかと考えている。

（東山理事長）

財務内容の改善について【橋本委員長】

OP75 以降、財務の内容としては単年度収支が赤字になったということで改善策等も記載されているが、今後の見通しは何か立っているのか？

●多分すべての病院が今困っている状況だと思う。急性期病院は稼働率が悪くなっていて、救急車は来るが、稼働率を戻そうとしてもなかなか戻らない。全国どこも同じ問題を抱えており、地域医療構想調整会議において病床を減らしていくというもあるので、病院がどこまで自分の努力で対応するかというのは現実的によくわからないところもある。

ただ、地域では外来診療を行う医療機関が減少しており、他の病院に比べると、外来診療を増やしていくことは比較的簡単にできるということと、入院患者で、今までコロナがあった関係もあり、少なくとも令和5年度は入院患者をしばらく個室または準個室で1週間見てから問題なければ一般病床へ移すという時期もあったので、今年度からはそういうのをやめて、病床稼働率は徐々に増えてきているが、目標にはまだまだ達成してなくて、2～3年後に通常に戻ればなと思っています。

この今の状況は、急性期病床を抱えている病院すべて同じだと思う。院内感染をコントロールするためには空き病床がないと難しいというもあり、院内感染をコントロールしながら病床を埋めていくのはどこの病院も悩んでいるところである。

当院としては、令和2年に大規模な新型コロナ感染によるクラスターが発生したが、それ以降は病院で大きなクラスターはそのような取組のおかげで新型コロナが5類感染症になった今でもない。多くの病院、施設では、現在も大きなクラスターがあっていると聞いている。

財務的には救急患者等を入院させてある程度は病床稼働率を上げていくことで改善を図ることはできるが、感染コントロールしながら安全な医療をという観点から見ると、少々の赤字でも、令和2年以降の新型コロナ発生後の現状では、病床を満床近くに埋めずに診ていかないとだめかなというところはある。（東山理事長）

■議題2 佐世保市総合医療センター令和5事業年度の業務実績評価**■議題3 佐世保市総合医療センター第3期中期目標期間の業務実績見込評価****【意見】**

令和5事業年度の業務実績評価(案)及び第3期中期目標期間の業務実績見込評価(案)の修正等が必要となるような意見はなし。

【質疑等】○質問 ●回答

目標値設定の考え方について【古賀委員】

○①P19 の高等専門医療の手術検査処置数等の数値目標値設定の考え方について、手術等々ができる能力が、一定の収益目標とかそういう別の基準でもって可能な範囲を挙げてあるのか？

②P37 医療関係者の人員数について、医師・看護師等の不足ということで募集してもなかなか来ないということをよく聞か、P37 の人員数は概ね目標を達成されているようだが、どういう状況で達成をされているのか？

- ①手術等については、高度専門医療を特化していく上でないと行えない手術等について、先生方と協力して拡大させていただいているところである。ロボット支援下手術についても、目標値以上に当院の方実績を図っている。
- ②医師・看護師等の人員については、薬剤師はまだまだ充足していないが、看護師等も随時確保を行うように、定期的な採用試験以外のところでも対応を行っている次第である。

目標値設定の基準について【木村委員】

○目標値を設定するときに原則が決められているのか？

- 基本的に特段の原則はない。まず市が中期目標を作成し、それを各法人病院の方に指示という形で中期目標をお示しする。その中期目標を達成するにあたって、今度は法人病院が中期計画(実行計画的なもの)を作り、目標数値等を設定してその実現に向けて取り組まれている。

中期計画にある評価の各項目における目標指標は各病院で設定していただいているので、考え方は統一されたものではなく、現状等々も含めながら、目標値を設定しているのではないかと考えている。

もう1つ、昨年度から評価様式を見直し、基本的に定量評価を基本とするということで方向性を定めたものであり、基本的に数値目標を各項目で設定をいただくという状況で評価を進めている。(事務局)

- 基本的には過去の数値と実績を参考にして、その伸び方がどれぐらいになるかとか、今後の計画で色々な機械も新たに導入するとかそういう考え方があれば追加した機械の分が伸びるといような、過去の実績、今後の見通しを踏まえて、各数値を設定している。(井原次長)

財務内容の改善について【橋本委員長】

○①P66 の経営基盤の確立、P69 の適正な収益、P72 の適正な費用について、令和5年度の評価はすべて計画を回って達成したとなっているが、P67 の経常収支比率は99.5%と赤字となっている理由を確認させていただきたい。

②いずれの場合も令和5年度の実績については評価がAとなっているので改善の記載は必要ないと思われるが、6年度の見込みも赤字となっているため、このまま2年連続で赤字が続くように見えてしまうのではないかと感じている。例えば黒字化に向けた取組であったり、或いはいつ頃までに黒字化するかといったような見込みを記載していただくことが可能かどうかという点についても確認させていただきたい。

- ①令和5年度については、収益は患者数の伸び、単価増の伸びもあったので収入的には伸びたが、やはり夏場の患者数のところについてはちょっと抑えなさいけなかったという実態があった。

最終的には、病床確保補助金等を入れた上でマイナス1億の赤字ということの結果に終わっている。

今後、黒字化ということになるかと思うが、コロナの状況がまだ一部ある中で、患者数が伸びていくかということについてはどの病院さんもお苦労されているところかと思う。

収益の単価を上げる点については、当院としても努力させていただいているところである。(南川事務部長)

P64 の特記事項、令和5年度の3行目「財務内容の改善の手法として、自己資本比率、固定長期適合率、流動比率については安全性を示す数値の範囲内に位置し、財務上の問題は見られない」ということで、こちらかの数値をもってAという評価になっているかと思う。基本的には、貸借対照表上では剰余金があり、そういった影響もあってこの数字が良い数値を示しているということでご理解いただければと思う。(井原次長)